

2014 年度版 ODA 評価年次報告書について

平成 26 年 11 月

外務省大臣官房 ODA 評価室

1 ODA 評価年次報告書の概要と目的

(1) 概要

本報告書は、国内外の ODA 評価の動向を概説した上で、外務省と他の ODA 関係省庁等が 2013 年度に実施した ODA 評価の概要等を取りまとめたもので、政府全体の ODA 評価の取組を概観した内容となっています（各評価案件の個別報告書は各省庁・JICA ホームページ等で公表済みです。）。

(2) 目的

ODA 評価の全体像を分かりやすく示し、ODA 評価が果たす役割と成果、さらに評価結果に対するフォローアップ状況等を公表することで、国民への説明責任を果たし、国民の ODA に対する理解促進を図ることを目的としています。なお、本報告書は全国の主要図書館等へ配布されるとともに、外務省ホームページに掲載されます。

2 本年度報告書の内容

報告書は 3 つの章と参考資料で構成されています。

(1) 「第 1 章 ODA 評価の概観」では、ODA 改革の流れの中で、日本の ODA 評価活動が 強化され、政策の PDCA サイクル (Plan(計画・政策立案)～Do(実施)～Check(評価)～Act(反映)) に位置付けられた経緯と、ODA 評価の実施体制の現状について概説しています。

また、OECD-DAC（開発援助委員会）などの国際機関における 開発効果の向上を目指した援助評価に関する議論の現状について概説しています。さらに、日本の国際貢献として、アジア大洋州地域の被援助国における評価能力の向上と開発の効率化を目的に実施している「ODA 評価ワークショップ」についても紹介しています。

(2) 「第 2 章 評価結果（2013 年度）の概要」では、外務省及び他の ODA 関係省庁等が 2013 年度に実施した評価結果の概要を紹介しています。外務省による評価については、国別評価を始めとする主に政策レベルの評価結果を紹介するとともに、各評価の提言に対する対応策の例も掲載しました。また、被援助国政府・機関等による評価も掲載しています。

(3) 「第 3 章 外務省による評価結果（2012 年度）のフォローアップ」では、2012 年度に外務省が実施した ODA 評価から出された 提言に対するフォローアップ状況を抜粋して掲載しています。

(4) 参考資料では、2003 年以降外務省が実施した ODA 評価の一覧や関連年表などを掲載しています。

(了)